

## 令和2年度 農山漁村振興交付金(農泊推進対策) 事業実施主体 評価一覧

### 【農泊推進対策(農泊地域高度化促進事業を除く)】 39件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階						評価	評価コメント
				H29	H30	R1	R2	R3	R4		
中国四国農政局	鳥取県	八頭町	有限会社ひよこカンパニー	/	★		◆	/	/	B	新型コロナウイルスの影響で、4月中旬から6月下旬まで営業を自粛し、その後も感染予防の観点で、客室の稼働率を半分程度に減らしながらの営業を余儀なくされ非常に大きな打撃を受けた。国や県の宿泊喚起策で一時的に客足が増加する時期もあったが、総体では営業日を減らしてコスト効率化を図ることで営業が継続できていることから、良好と評価する。
中国四国農政局	島根県	出雲市	株式会社NOTE雲州	/	★		◆	/	/	B	他者との接触機会が少ない小規模の施設整備であり、現在の社会ニーズに合致しているという点で、宿泊客を取り込むことができたと考える。また、宿泊客の木綿街道内での買い回りや地域住民との交流など、売上実績だけでは測れない効果も生み出している。さらに、コロナ禍ではあったが、HPやSNSを通じて町の様子の周知に努め、地域の魅力を発信し、集客に繋げることができたことから、良好と評価する。
中国四国農政局	島根県	大田市	株式会社おおもり	/	★		◆	/	/	A	新型コロナウイルスの影響で観光客数が大幅に減少し売り上げは大きく減少したものの、宿を月ぎめの賃貸に転換するなかで最小限の売り上げを得ることができた。また、周辺施設との連携で代官所周辺域の人の流れを増やす取り組みも行った。さらに、地域で勉強会開催し、観光面での課題解決の案を出し、その案を取り入れながら地域の施設が連携した石見銀山ウォーキングミュージアム「詩(うた)と生活(くらし)とデザイン展」を行った。この中で、小中高校への無料券の配布、共通チケットの実験などを行い、次年度以降の取り組み方が見えてきたことから、優良と評価する。
中国四国農政局	島根県	大田市	株式会社協悠	/	★		◆	/	/	B	運営管理者による情報発信、近隣宿泊施設等との連動による営業等を行うとともに、GOTOキャンペーンの利用や島根県、山陰地方のキャンペーン、大田市のキャンペーン等も利用しながら誘客促進に努めた。ハード整備を実施したHISOMIにおいては、供用に際して情報発信に力を入れた。特に国全体で推進しているインバウンドにターゲットを定めた情報発信に注力したが、新型コロナウイルスの感染拡大により期待したインバウンドの利用には至らなかった。しかし、整備当初から、「ワーケーション」「ブレジャー」を意識した設計、整備を行ったため、リモートワークできる方の利用など国内の利用があったことから、良好と評価する。

## 令和2年度 農山漁村振興交付金(農泊推進対策) 事業実施主体 評価一覧

### 【農泊推進対策(農泊地域高度化促進事業を除く)】 39件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階						評価	評価コメント
				H29	H30	R1	R2	R3	R4		
中国四国農政局	島根県	津和野町	津和野町		★		◆			B	取組はカフェ棟が完成し、当初予定していた民間による指定管理による運営(民間主導に夜NPO婦人の設立)も実現し、地域住民や近隣地域の住民を巻き込んだ農山村地域における誘客の取組みが順調に実現されつつあり当初の目標値をクリアしていたが、令和2年度においてはコロナウイルス感染症の拡大によって人流が激減しており、町全体の観光入りこみ客数が減少する状況下となり、評価時点では当初の目標値を下回っている。しかしながら、こうしたことがなければ目標値はクリアできたものと推察できことから、良好と評価する。
中国四国農政局	広島県	竹原市・大崎上島町	株式会社Ripple		★		◆			A	地域の農水産物食材を生かしたレストラン運営、農水産物の体験プログラム、町並み保存地区を中心とした日本文化の体験プログラムなど宿泊施設を中心に展開を図ることが出来た。コロナ禍にあっては、GOTOトラベルを活用するとともに、密を避ける旅(分散型ホテル・個室利用)の提案をするプランなど、安心安全な旅の提供を進めながら対策を進めることにより、少ないながらも一定の評価を受けて集客に繋がっていることから、優良と評価する。
中国四国農政局	広島県	庄原市	株式会社古街計画		★	★	◆			A	農泊推進事業による体験プログラムの造成やプロモーション活動、人材活用事業による専門家人材の活用、施設整備事業における宿泊施設の整備について計画通り実施し、整備後においても安定的に事業継続ができていることから、優良と評価する。
中国四国農政局	香川県	高松市	株式会社オキオリーブ		★		◆			B	事業開始年度は、まだ知名度が上がらず売り上げ等は苦戦を強いられたが、ホームページの拡充やSNSの活用、インフルエンサー広報なども含めて集客のための工夫を図り、首都圏、京阪神地区のマーケットにおける農泊需要を取り込むことが出来き、翌年以降は徐々にメディア等にも取り上げられ、売り上げが伸びるようになっていったことから、良好と評価する。
中国四国農政局	香川県	三豊市	合同会社フィネストラ		★		◆			A	当施設は稼働初年度である平成31年より高い稼働率(50%程度)を記録し、一棟貸という性質上、コロナ禍でも手堅い稼働率を保った。また、地域の食材を使った出張シェフサービス(地域色アテンダント)や、地域のガイドツアー、オリーブの摘み取り体験など、幅広く地域の事業者との相乗効果を生み出すことができた。コロナ禍によりソフト事業とのクロスセル率は下がったが、コロナ禍に対応した新しいサービス(置配型のミールキットなど)を開発することで、引き続き食サービスの面で地域の事業者や農業者等へ寄与することができたことから、優良と評価する。

## 令和2年度 農山漁村振興交付金(農泊推進対策) 事業実施主体 評価一覧

### 【農泊推進対策(農泊地域高度化促進事業を除く)】 39件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階						評価	評価コメント
				H29	H30	R1	R2	R3	R4		
中国四国農政局	愛媛県	大洲市	特定非営利活動法人おおなる工房	/	★	★	◆	/	/	A	期限内に所定の改修工事をすべて終えることができた。これにより、来訪者が当地区に滞在する時間が格段に長くなり、体験プログラムの提供を含め、より幅広い農泊事業の展開が期待できることから、優良と評価する。
中国四国農政局	高知県	土佐市・須崎市	高知県漁業協同組合	/	★		◆	/	/	B	事業計画に揚げていた取組内容については概ね実施している。R2年度は全国的な新型コロナウイルス流行の影響を受けたものの、事業体制を維持した上で目標値も達成しており、良好と評価する。
中国四国農政局	鳥取県 兵庫県	鳥取市外6町	一般社団法人 麒麟のまち観光局	/	/	●	● ■	/	/	A	1市6町の広域エリアのDMOとして、自治体、観光協会、事業者など多くの関係者との連携と協力を得ながら農泊推進を図ることができた。また、ハード整備事業を実施したオオエ・バレー・ステイとの連携を進め、ワーケーションの受け入れに着手することができた。さらに、インバウンド向けプロモーション素材として、農泊推進事業で作成したプロモーション映像をJNTO、山陰インバウンド機構をはじめとする海外向け情報発信に活用するなど、優良と評価する。
中国四国農政局	鳥取県	岩美町	岩美渚泊推進協議会	/	/	●	● ■	/	/	A	漁村での体験や食事を加えた旅行プランを中核法人(旅行業)が大手旅行会社を通じて販売を行い即売となるなど、渚泊事業化の取組を進めた。また、本事業によって、体験、宿泊、食事、販売などの各プレイヤーの連携が促進され、地域のブランド化を推進するなど、産業や暮らしを観光コンテンツとするという新たな視点が地域に醸成されたことは、今後の観光に大きく影響する重要な成果と考え、優良と評価する。
中国四国農政局	島根県	浜田市	浜田市ツーリズム協議会	/	/	●	● ■	/	/	A	円滑な事業推進を図るため、初年度から「事業推進会議」(農都交流プロジェクト委員会14名)を立ち上げ、定例開催を行い事業遂行状況・目標値の達成方針等の共有と、事業への市民参加の促進、地域の主体的な受け入れ体制づくりに努めた。予期せぬコロナ感染症事態下での事業実施の難しさを抱えながらも、社会動向、地域事情、市民感情などを加味しながら事業の調整・遂行に努めた。人材活用委託事業者により事業全体において適切なスケジュール管理や指導助言、現場支援を受け予定事業を完了しており、優良と評価する。

## 令和2年度 農山漁村振興交付金(農泊推進対策) 事業実施主体 評価一覧

### 【農泊推進対策(農泊地域高度化促進事業を除く)】 39件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階						評価	評価コメント
				H29	H30	R1	R2	R3	R4		
中国四国農政局	島根県	奥出雲町	奥出雲町農泊推進協議会	/	/	●	● ■	/	/	A	本事業の実施により、これまでほとんどなかった体験プログラム数が増加し、現在は20を超えた。体験プログラムを造成することによって、地域の日常が都会の方や外国人からは特別なもの・価値があるものという視点であることが分かった。また、農家民泊に関しても、開業した方も増え推進体制が整ったことで相談も増えるなど、地域の活性化が進んでおり、優良と評価する。
中国四国農政局	岡山県	津山市	あば村農泊推進機構	/	/	●	●	○ □	/	A	あば村農泊推進機構に作業部会を組織し、体験メニュー、コンテンツの企画・立案を行うとともに、実施可能なものからモニターツアーやイベントを開催しコンテンツのブラッシュアップを図った。また、地域外のホテルなどと連携を図り、相互の集客を高める取組も行った。取組の中で津山市内のホテルと観光連携協定を結ぶことができ、さらに、阿波森林公園では、グランピング事業を展開したいと事業者から申し出があるなど、今後につながる取組も生まれた。また、地区外からの移住希望者も年度末までに10世帯20人余りあり、地域に新たな活力が生まれているため、優良と評価する。
中国四国農政局	広島県	呉市	未来へのとびしマーレ構想協議会	/	/	●	● ■	/	/	A	本事業の実施により、マイクロツーリズムへの意識の変化や「メンタルヘルスツーリズム」実施に向けた取組の実施、アフターコロナに向けて、地域一体となって取り組むべき事項の整理と対応方針ができ、コロナ禍ではあったが効果的な事業実施となったため、優良と評価する。
中国四国農政局	広島県	三次市	楽しいふるさと川西協議会	/	/	●	●	○ □	/	B	新型コロナの影響により予定していた取組の一部が実施できなかったが、緊急事態宣言や移動制限が解除された期間で、ワークショップやモニターツアーの取組を実施するなど事業実施に務めた。また、コロナ対策マニュアルを作成するなど、対策方法を検討し、目標達成に向けて取組ができるよう対応を行ったことから、良好と評価する。
中国四国農政局	広島県	安芸高田市	安芸高田市農泊推進協議会	/	/	●	●	○ □	/	A	計画していたオフラインのイベントだけでなく、これまで使ったことがなかったオンラインも駆使し、安芸高田市で体験プログラムとなり得る暮らしをしている地域住民が多数発掘できた。また、同様に安芸高田市で宿泊業を開業したいと考えている住民がまだまだいることがわかり、今後宿の形態は問わず小規模ではあるが都市住民との交流を軸とした個性的な宿泊施設ができていくなど地域活性化が図られることから、優良と評価する。

## 令和2年度 農山漁村振興交付金(農泊推進対策) 事業実施主体 評価一覧

### 【農泊推進対策(農泊地域高度化促進事業を除く)】 39件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階						評価	評価コメント
				H29	H30	R1	R2	R3	R4		
中国四国農政局	山口県	周南市	須金里山リゾート協議会	/	/	●	● ■	/	/	A	売上高目標は、ほぼ達成できたが、冬のコンテンツとして新たに開発したコタツバーベキューや、3月実施予定だったイベントがコロナの影響により実施できなかった。宿泊数においては、コロナの影響で冬グランピングが実施できず51%の実績。しかし、体験プログラムの開発は22のプログラムが達成することができており、優良と評価する。
中国四国農政局	徳島県	上勝町	いろどり山Mass Compass協議会	/	/	●	●	○ □	/	A	昨年度より続くコロナ感染対策に伴い、事業の縮小を余儀なくされたが、感染者を出すことなく一定以上の外部参加者、外部講師を向かえたモニターツアーによるプログラム数の増加及び評価、修正が実施できたことから、優良と評価する。
中国四国農政局	愛媛県	松野町	森の国アウトバック構想連絡協議会	/	/	●	● ■	/	/	B	取組を継続しているテントサウナ体験やチームビルディングなどの新規ツアー開発とモニターツアーを行うなど、営業体制が準備できていることから、良好と判断する。
中国四国農政局	岡山県	笠岡市	白石島農泊推進協議会	/	/	● ★	●	○ □ ◇	/	B	農泊推進事業においては、長期滞在プランの推進、地元食材を活用したメニューの開発、農泊推進にあたっての島民らによるミーティングフォーラムを開催し、地域を挙げた宿泊者増及び本地域の活性化を通じ一層の農泊推進を図られた。また、施設整備事業においては、島内で課題となっている食事提供場所を増やすため、港から比較的近い場所に位置する古民家を改修した。今後コロナ後の需要喚起のために協議会を中心に島全体が団結してPRを進めていく取組を行う等、良好と評価する。
中国四国農政局	広島県	福山市	鞆の浦農泊推進協議会	/	/	● ★	● ■	/	◇	B	エリア計画・施設ブランディング計画、プロジェクトの企画、先進事例の調査・研修、情報発信、研修生の育成、外部専門家による指導、研修会・ワークショップの開催として地元住民も巻き込みながら取組を行っており、良好と評価する。
中国四国農政局	香川県	小豆島町	三都半島農泊推進協議会	/	/	● ★	● ■	/	◇	B	SNSについては、FacebookやInstagramを定期的に更新して情報発信を行っている。お土産は、10品目程度を地元企業のOEMとして商品化した。来客数は少なく効果判定は出来ないが、計画通りに実行はできており、良好と評価する。

## 令和2年度 農山漁村振興交付金(農泊推進対策) 事業実施主体 評価一覧

### 【農泊推進対策(農泊地域高度化促進事業を除く)】 39件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階						評価	評価コメント
				H29	H30	R1	R2	R3	R4		
中国四国農政局	広島県	東広島市	心のふるさと県央協議会	/	/	● ★	● ★	○ □ ◇	/	B	地域の中核宿泊施設として県央ツーリズムセンターを建築して、アルベルゴディフーズ型の滞在型の地域を目標としている。そのために、地域の魅力を発信するホームページや動画制作、新たな体験の掘り起こしを実施して、地域の観光コンテンツを増やしている。また、農泊推進セミナーなどを通して、農泊の意義を醸成しているため、良好と評価する。
中国四国農政局	香川県	丸亀市	讃岐広島・小手島・手島活性化協議会	/	/	● ★	● ★	◇	/	B	農泊推進事業では、体験プログラムや特産品の具体的な商品化を行うことができた。また、施設整備事業の尾上邸改修は、計画変更したものの、宿泊施設としての工事が完了し、令和3年7月から運営開始を予定しているなど、コロナ対策を講じながらほぼ計画どおり取組を終えることができた。今後は、農泊の主旨である宿泊と体験を一体的な事業として展開していくことで、売上等の目標達成を目指していることから、良好と評価する。
中国四国農政局	香川県	三木町	小菘農泊推進協議会	/	/	● ★	● ■ ★	◇	/	B	農泊推進協議会メンバーはもとより、地元自治会・三木高校・三木町役場と連記しPRに務めるなどの集客を行った結果、宿泊については目標60名に対し86名の利用があった。また、農業体験については、目標の100名を上回る116名の参加があったことから、良好と評価する。
中国四国農政局	岡山県	美作市	東栗倉農泊推進協議会	/	/	●	● ■		/	A	販売促進のためのホームページの整備、地域資源を活かした料理メニューの開発、グランピング要素など目標にしていた取組を実施した。さらにより一層の促進を図るためのハード面の強化については、市が取組を進めている重要文化財を活かした拠点整備の活用方法について協議するなど、優良と評価する。
中国四国農政局	岡山県	新庄村	SWA地域協議会	/	/	●	● ■		/	B	新型コロナウイルスの影響により、宿泊イベントが中止となり利用予定者が減少。さらに、予約のキャンセルが出るなど、宿泊事業、イベント事業の達成状況が芳しくない。しかし、特産品の販売については、オンラインイベントの実施などの効果もあり、順調に売上も増えつつある。また、中核団体である株式会社Fullbackが保有する古民家や「みずもり」を拠点として、地域の飲食店やイベント企画会社とも連携を図りながら実施体制を構築し取組を進めており、良好と評価する。
中国四国農政局	広島県	府中市	上下まちづくり協議会	/	/	●	●	○ □	/	A	昨年度から検討してきた農村地域を含めた滞在交流型プログラムを実施することができた。また、農村地域と商店街の連携や、宿泊を伴うプログラムの提供を行うことで、地域全体への経済効果を出していける取組へと繋がっていることから、優良と評価する。

## 令和2年度 農山漁村振興交付金(農泊推進対策) 事業実施主体 評価一覧

### 【農泊推進対策(農泊地域高度化促進事業を除く)】 39件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階						評価	評価コメント
				H29	H30	R1	R2	R3	R4		
中国四国農政局	広島県	呉市	島まるごとユニバーシティ協議会	/	/	●	● ■	/	/	A	当事業主体のコンセプト、使命、活動(合宿、カリキュラム)などを地域に十分説明し、合意を得た。また、協議会を構成する関係団体や関係機関と毎月1回の定例会議を開催、運営状況を報告・情報交換などを行い、ユニバーシティ体制の強化や将来の地域の有るべき姿の議論も行いながら、「ゲストハウス合宿」「音戸体験ツアー」「グルメカレッジ」「空き家リノベーションツアー」を企画・実施した。目標を超える2軒のゲストハウスの開業を達成したことから、優良と評価する。
中国四国農政局	広島県	呉市	倉橋交流拠点構想推進協議会	/	/	●	● ■	/	/	A	本事業を通して、地域資源の再発見とコンテンツ化ならびに情報の集約化と発信を地域をあげて推進することにより、地域の魅力向上とマーケティングの取組ができた。また、倉橋地区の農泊で来訪者を受け入れるための勉強会や研究会を継続的に実施し、地域の魅力創出を図るための社会実験やイベント等を取り組む基盤ができた。さらに、滞在時間延伸のため、地域資源を活用した体験メニューの実施や自然と親しめる宿泊施設の整備支援をすることともに、地元農水産物などの食材を活かす料理やお土産品等の開発とマーケティングを行ったことから、優良と評価する。
中国四国農政局	徳島県	阿南市	波のりイシマ協議会	/	/	●	● ■	/	/	A	これまで産業は漁業しかなく、渚泊のような観光事業の経験が乏しい離島において、町会や漁協が中心となり、地域が一丸となって取り組んだことで、今後の伊島にとって重要な一歩が踏み出された。また、協議会の下部組織として、島の若手漁業者でつくる体験プログラムの実務を行うグループが複数設立され、より持続的な組織体制が構築されるなど、優良と評価する。
中国四国農政局	岡山県	矢掛町	一般財団法人矢掛町観光交流推進機構	/	/	●	● ■	/	/	B	コロナ禍において、事業実施にあたり様々な制約や安全対策等が必要となり事業実施にはかなり苦慮したが、事業を見直し検討する時間も多く確保でき、内容の充実した事業実施が行えた。また、農泊に対するニーズ把握や関係者の意識と運営体制への刺激もあり、一定の集客等があり農泊の可能性と魅力が把握できた。さらに、町内でのマイクロツーリズムを充実する際に農泊を販売する体制等が整ったことから、良好と評価する。
中国四国農政局	島根県	松江市	水の都まつえ観光魅力化協議会	/	/	/	●	○ □	/	A	魅力度向上のための調査検討や地域資源や農産品等の磨き上げやコンテンツ開発などエリア内の点を魅力化することを中心に事業を進めた。新型コロナウイルスの影響により、予定通りに事が進まない場面も多くあり、特に宿泊者に関しては厳しい状況で通常通りの運営ができず、目標達成には遠く及ばなかったが、飲食店や体験コンテンツ等は状況に応じて工夫し、広報PRに力を入れる取組を行ったことから、優良と評価する。

## 令和2年度 農山漁村振興交付金(農泊推進対策) 事業実施主体 評価一覧

### 【農泊推進対策(農泊地域高度化促進事業を除く)】 39件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階						評価	評価コメント
				H29	H30	R1	R2	R3	R4		
中国四国農政局	岡山県	笠岡市	北木島活性化プロジェクト協議会	/	/	/	●	○ □	/	A	新型コロナウイルス感染拡大の影響で、計画していた取組の一部が実行できなかったが、福山大学や岡山県水産研究所、島民、漁業者が連携して笠岡諸島の新たな産業を生み出す取組を進められたことから、優良と評価する。
中国四国農政局	岡山県	久米南町	上臼みろく農場協議会	/	/	/	●	○ □	/	B	受け入れ体制の整備や運営強化の取組が行われ、実施体制はレベルアップしたといえる。また、目標の食事メニューの開発や保全活動、耕作放棄地の新たな活用方法を見出すなどに取り組んだ。さらに、リモート対応によるセミナーを開催し参加者の声や意見を取り入れるなどの取組を実施しており、良好と評価する。
中国四国農政局	香川県	さぬき市	さぬき市津田地区漁業活性化協議会	/	/	/	●	○ □	/	B	取組の実施について、新型コロナウイルス感染症拡大のため、取組の一部について順延することになった。実施体制については、各部門が連携した取り組みを行うため、部門長を置き、会長、副会長及び事務局長と各部門長との協議を毎月開催する等、協議会の運営体制構築に務めた。なお、目標達成状況については、コロナの影響で営業を休止した事業もあり、体験プログラムの参加人数については前年度を下回ったが、他の項目については、すべて前年度及び目標値を上回っていることから、良好と評価する。

(注1) 「事業実施段階」の凡例： ソフト事業 ○・・・交付対象年度(計画) ●・・・交付対象年度(実施済) □・・・目標年度(計画) ■・・・目標年度(実施済)  
ハード事業 ☆・・・交付対象年度(計画) ★・・・交付対象年度(実施済) ◇・・・目標年度(計画) ◆・・・目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分： A・・・優良 B・・・良好 C・・・低調



## 令和2年度 農山漁村振興交付金(農泊推進対策) 事業実施主体 評価一覧

### 【農泊推進対策(農泊地域高度化促進事業)】 1件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階				評価	評価コメント
				R1	R2	R3	R4		
中国四国農政局	山口県	萩市	萩市ふるさとツーリズム推進協議会	/	●	○ □	/	B	「パンフレットの制作」及び「インフォメーション資料の作成」については、人やモノの移動が複数回行われることから、コロナ禍による感染状況を考慮し、事業は次年度に持ち越し、Wi-Fi環境の整備のみ行ったことから、良好と評価する。

(注1) 「事業実施段階」の凡例： ○…交付対象年度(計画) ●…交付対象年度(実施済) □…目標年度(計画) ■…目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分： A…優良 B…良好 C…低調

### 【令和2年度農山漁村振興交付金(農泊推進対策)の評価概要】

・令和2年度の農泊推進対策の事業評価では、農泊高度化促進事業を除いた平成30年度採択地区のうち施設整備事業を実施した11団体、令和元年度採択地区24団体、令和2年度採択地区の4団体の計39団体、令和2年度に農泊高度化促進事業を採択した1団体の合計40団体を評価した。  
 ・事業評価の結果、実施計画に基づく取組が概ね実施され、コロナ禍であっても成果として十分上がっていると認められる総合評価「A」が21団体で、取組がある程度実施され、成果もある程度上がっていると認められる総合評価「B」が19団体であった。  
 ・本交付金の活用によって、農泊地域への地域活性化に一定の成果が出ていると認められるが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により売上額等が伸びていない地区があるなど、今後のコロナ禍に対応した取り組みの検討を進める必要がある。

### 【令和3年度評価委員会の議事概要】

- 日時:令和3年9月17日(金)13:30~15:15
- 場所:中国四国農政局会議室(10階B会議室)
- 概要:令和3年度評価対象団体の評価について
  - ・平成30年度から令和2年度の間で採択され農泊推進対策の取り組んだ、令和2年度評価対象地区40団体について、評価案等に関して了解を得た。
- 主な意見
  - ・新型コロナウイルスの感染が拡大する中においても取り組みへの影響が少なかった団体があり、その取り組みについて検証し横展開ができないか。
  - ・一次産品など物に対するブランド化や地域資源を生かした取り組みをPRすることにより、その地域に来ていただくような取り組みが必要。